



東京部会(第101回)

日時:	2018年6月27日(水) 19:00-21:20
場所:	慶応義塾大学三田キャンパス研究棟 446号会議室
参加者:	[順不同・敬称略] 篠原総一(京都学園大学)、加藤一誠(慶応義塾大学)、佐藤英司(福島大学)、鍋島史一(教育実践研究オフィスF)、鈴木深(東京証券取引所)、岡部ちはる(東京証券取引所)、杉田孝之(千葉県立津田沼高校)、塙枝里子(都立府中東高校)、藤巻朗(目黒学院中・高)、金子幹夫(神奈川県立三浦初声高校)、中沖栄(清水書院)、新井明(上智大学非常勤講師)、以上12名。

1 報告事項・事務連絡

(1)「新テスト問題を視点に授業改善を考える」に関する報告が行われた。

「夏休み経済教室」東京高校での講義内容に関して、まず佐藤英司先生(福島大学)から内容の概略に関する報告があった。新テスト試行問題の大問3を素材に、まず参加者に回答してもらい、その後に解説、さらにこの問題から考えられる授業提案という流れで構成する予定との報告であった。

鍋島史一氏(教育実践研究オフィスF)からは、試行テストが要求している生徒の能力と現在の指導のギャップをどう埋めるかという視点から、問題ごとに教育方法を改善提案する内容で発表するという報告があった。

検討では、問題の経済学から見た内容的な問題と作問上の問題を区別して考える点を指摘すること、授業改善の提案部分をさらに強調するようにしてほしいなどの要望が出された。また、教える側の教師が新しい動向だからといって生徒を焦らせる必要はないのではという点も指摘され、現在その低下が問題になっている生徒の理解力をどのレベルでどのように身につけさせるのかが議論された。

(2)「夏休み経済教室」に関する報告があった。

鈴木深氏と岡部ちはる氏(ともに東京証券取引所)より、現状の紹介があった。

6月25日段階での受付状況は以下の通りである。(内は昨年数字)

8月2日名古屋中学 29(19) 8月3日名古屋高校 25(25)

8月6日大阪高校 59(43) 8月7日大阪中学 67(53)

8月9日東京高校① 97(110) 8月10日東京高校② 92(99)

8月16日東京中学① 96(105) 8月17日東京中学② 92(85)

ほぼ昨年並みであるが、さらに参加者を増やすように研究団体などに働きかけることになった。

2 実践報告・教材提案関係

(1)参加者からの報告

a)杉田、金子先生の授業づくり発表の紹介と検討が行われた。

金子幹夫先生(神奈川県立三浦初声高校)より、5月の東京部会で検討された「夏休み経済教室(東京高校)」で発表される予定内容の、その後の有志の勉強会(陰謀会議)での検討を経てブラッシュアップされた内容が紹介された。今回提示されたドラフトをさらに時間をかけて完成させるということで了解された。

b)杉田・河原先生の授業提案の検討が行われた。

同じく「夏休み経済教室(東京中学)」で発表が予定されている、杉田先生と河原和之先生(立命館大学他非常勤講師)による「ウソッ! ホント授業の作り方ー日常の話題から“経済概念”を素材としてー」の概要が、杉田孝之先生(千葉県立津田沼高校)から報告された。これは、5月部会で紹介された内容プロットを、河原先生が作成した発表用のドラフトを踏まえて再構成したものである。河原先生の発表を踏まえて、杉田先生が質問をしてゆくことで河原授業づくりの秘密に迫るという試みであり、これまでにはなかった内容となることが期待されるものにな



っていることが確認された。

c) 塙先生発表の内容紹介があった。

塙枝里子先生(都立府中東高校)から「夏休み経済教室(大阪)」で発表が予定されている「エコノミストとつくった三つの授業」の内容紹介があった。同じく、5月の報告の修正版で、本番までにさらに検討を加えてゆくことで了承された。

(2) 東証の書籍の紹介と新しい教材の検討

a) 東証編集の書籍の紹介があった。

鈴木深氏より、東京証券取引所が編集して昨年12月に発行された『証券市場誕生』(集英社)の紹介があった。これは明治維新150年にちなんで発行された書籍であり、江戸時代の堂島会所から現代までの証券市場の歩みを読み物としてまとめられており、市場理解の参考になるものとなっている。

b) 新教材の紹介と検討が行われた。

岡部ちはる氏より、東京証券取引所が開発中の新教材の概略が紹介され、そのなかの二つのテーマに関する内容の検討が行われた。中学生向けに授業の導入で使えるような教材を目指したもので、大阪部会メンバーの意見などを踏まえて、さらに内容を使いやすいものとするようになった。なお、この教材は、「夏休み経済教室」東京中学で紹介される予定である。

3 冬の経済教室、年次大会の件

12月に行ってきた「冬の教室」と3月に行ってきた年次大会の実施と内容に関する検討を行った。その結果、12月の冬の経済教室と3月の年次大会を統合し、来年3月16日(土)に「経済教育シンポジウム」を慶應義塾大学で行うこととなった。内容に関しては、行動経済学を経済教育にどのように活かしてゆくかを仮のテーマとして、今後講演講師、授業提案者などを詰めてゆくこととなった。

4 今回の東京部会

夏休み経済教室での各人からの発表内容の検討を通して、部会での提案→検討→対外的な発表という一連の流れができてきたように思われる、充実した部会となった。

(記録と文責:新井)

次回以降の開催予定、9月15日(土)14:00~16:30。会場は慶應義塾大学三田キャンパス内会議室。
以降10月25日(木)、11月22日(木)、12月25日(火)を予定している。